

環境保全型農業直接支払交付金の 実施状況について

愛知県農業経営課

環境・植防・肥料農薬取締グループ

御検討いただくこと

(開催要領より抜粋)

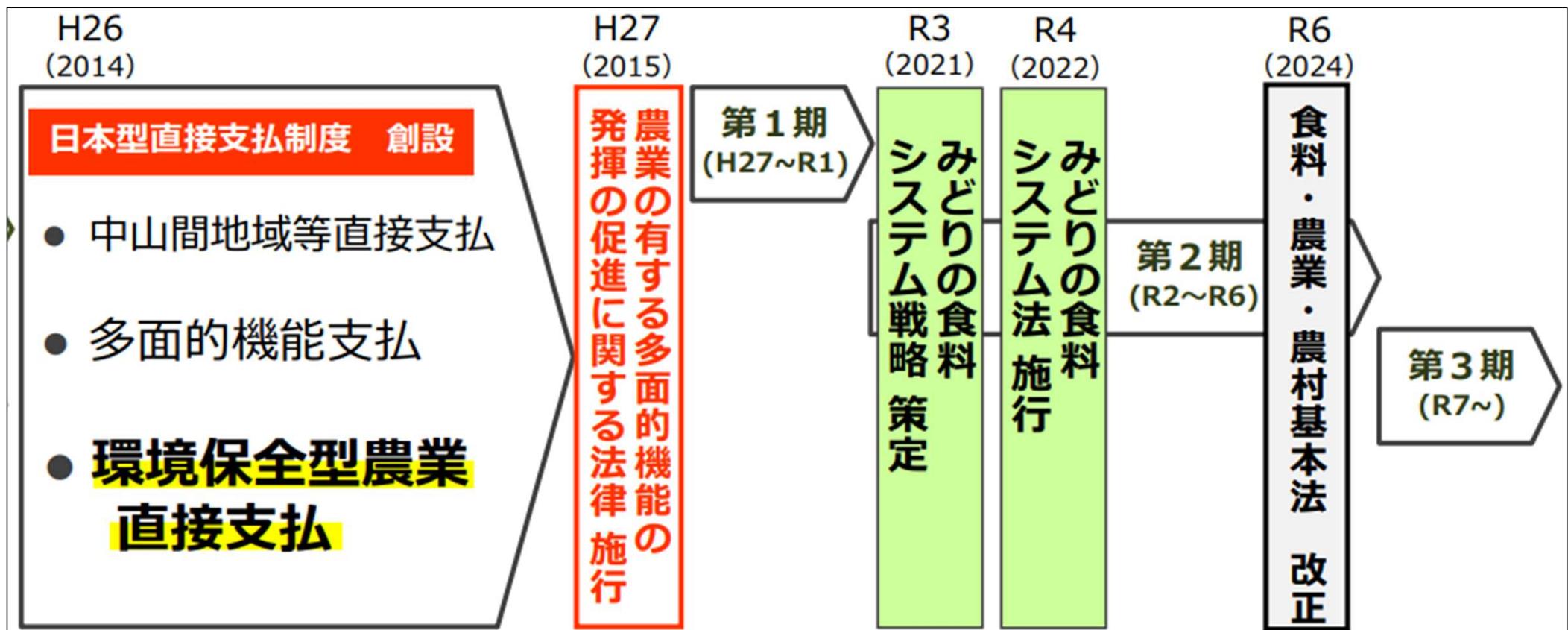
第2条 委員会は (中略) 次に掲げる事項について意見交換を行う。

- 1 農業農村多面的機能活動及び **環境保全型農業活動の実施状況**について
- 2 農業農村多面的機能活動及び **環境保全型農業活動の評価**について

本日の内容

- ① 環境保全型農業直接支払交付金の制度について
- ② R6年度の実施状況について
- ③ R7年度の支援対象について

環境保全型農業直接支払交付金制度について



農林水産省WEBページより引用

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/attach/pdf/mainp-1751.pdf

環境保全型農業直接支払交付金は、生産方式に着目

＜制度の全体像＞

※ 金額は、R7年度予算額 (括弧内は、R6年度予算額)

↑
多面的機能の
発揮

↑
多面的機能の
発揮

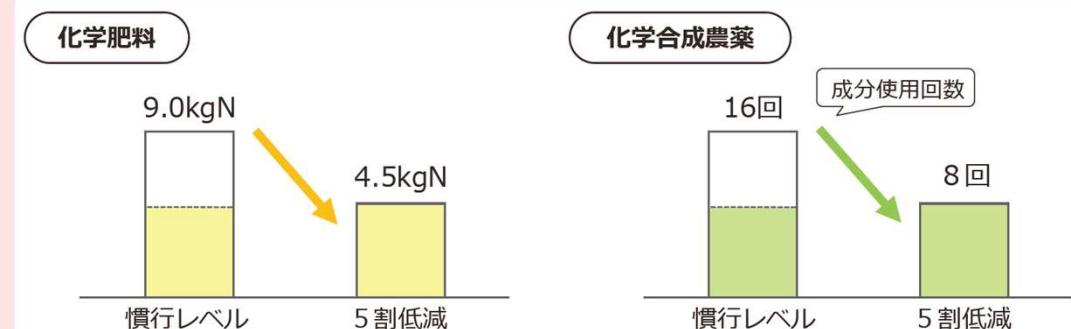
環境保全型農業直接支払 2,804 (2,641) 百万円	「生産方式 に着目」	有機農業 	緑肥の施用 	堆肥の施用 
○自然環境の保全に資する生産方式を導入した農業生産活動を推進するため、活動の追加的コストを支援				
多面的機能支払 50,048 (48,589) 百万円	「活動内容 に着目」	<p>【資源向上支払】 ○地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動を支援 ・水路、農道、ため池の軽微な補修 ・生態系保全などの農村環境保全活動 ・施設の長寿命化のための活動 等  水路のひび割れ補修 ため池の外来種駆除</p> <p>【農地維持支払】 ○多面的機能を支える共同活動を支援 ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動 ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化 等  農地法面の草刈り 水路の泥上げ</p>		
中山間地域等直接支払 28,460 (26,100) 百万円	「対象地域 に着目」	<p>○中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動の継続を支援 ・農業生産活動（耕作放棄の防止活動等） ・多面的機能を増進する活動（周辺林地の管理、景観作物の作付等）  中山間地域 (山口県長門市)</p>		

農林水産省WEBページより引用

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/attach/pdf/mainp-1751.pdf

自然環境の保全に資する生産方式とは？

化学肥料・化学合成農薬を
慣行より 5割以上低減する取組



図：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

+

地球温暖化防止に効果の高い営農活動
生物多様性保全等に効果の高い営農活動



有機農業



堆肥の施用



カバークロップ

写真：農林水産省WEBページ（https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubara/mainp.html）より引用

支援対象になるには、上記を2つとも満たすことが必要

R6年度の支援対象となる営農活動と支援単価

有機農業



有機農業取組拡大加算

交付単価：12,000円／10a

国際水準の有機農業の実施が必要

- ・化学合成肥料及び農薬の不使用
- ・遺伝子組換え技術禁止
- ・飛散防止のための緩衝帯の設定 等

堆肥の施用



交付単価：4,400円／10a

炭素貯留効果の高い堆肥を施用

R6年度の支援対象となる営農活動と支援単価

カバークロップ



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

交付単価：6,000円/10a

栽培期間の前後に緑肥作付け

リビングマルチ



リビングマルチによる害虫防除（露地野菜）の研究成果より引用
https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/midori_seminar/attach/pdf/240301-61.pdf

交付単価：5,400円/10a

作物の畝間に緑肥作付け

草生栽培



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

交付単価：5,000円/10a

果樹・茶園に緑肥作付け

R6年度の支援対象となる営農活動と支援単価

不耕起播種



写真：令和6年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

交付単価：3,000円/10a

全面耕起を行わずに播種(小麦等)

長期中干し



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

交付単価：800円/10a

通常よりも長期の中干し(水稻)

秋耕



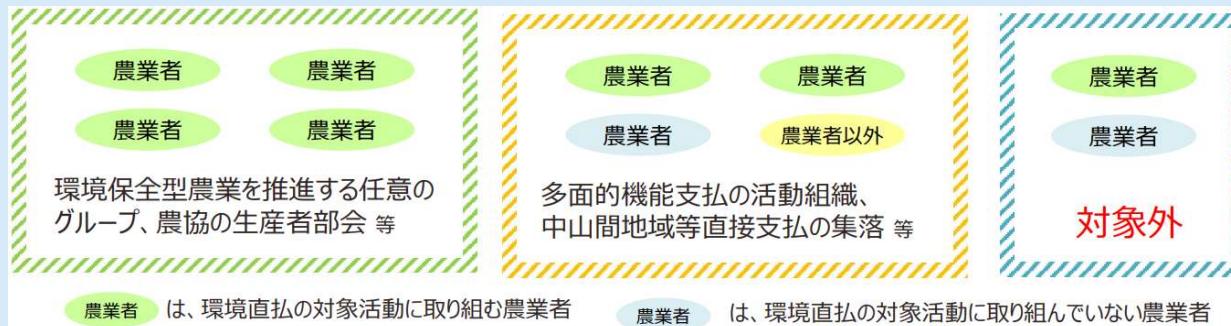
写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の手引きより引用

交付単価：800円/10a

秋季に耕耘 + 春季に湛水(水稻)

対象者

① 農業者の組織する団体 ※ 環境直払に取り組む農業者が団体内に2名以上必要



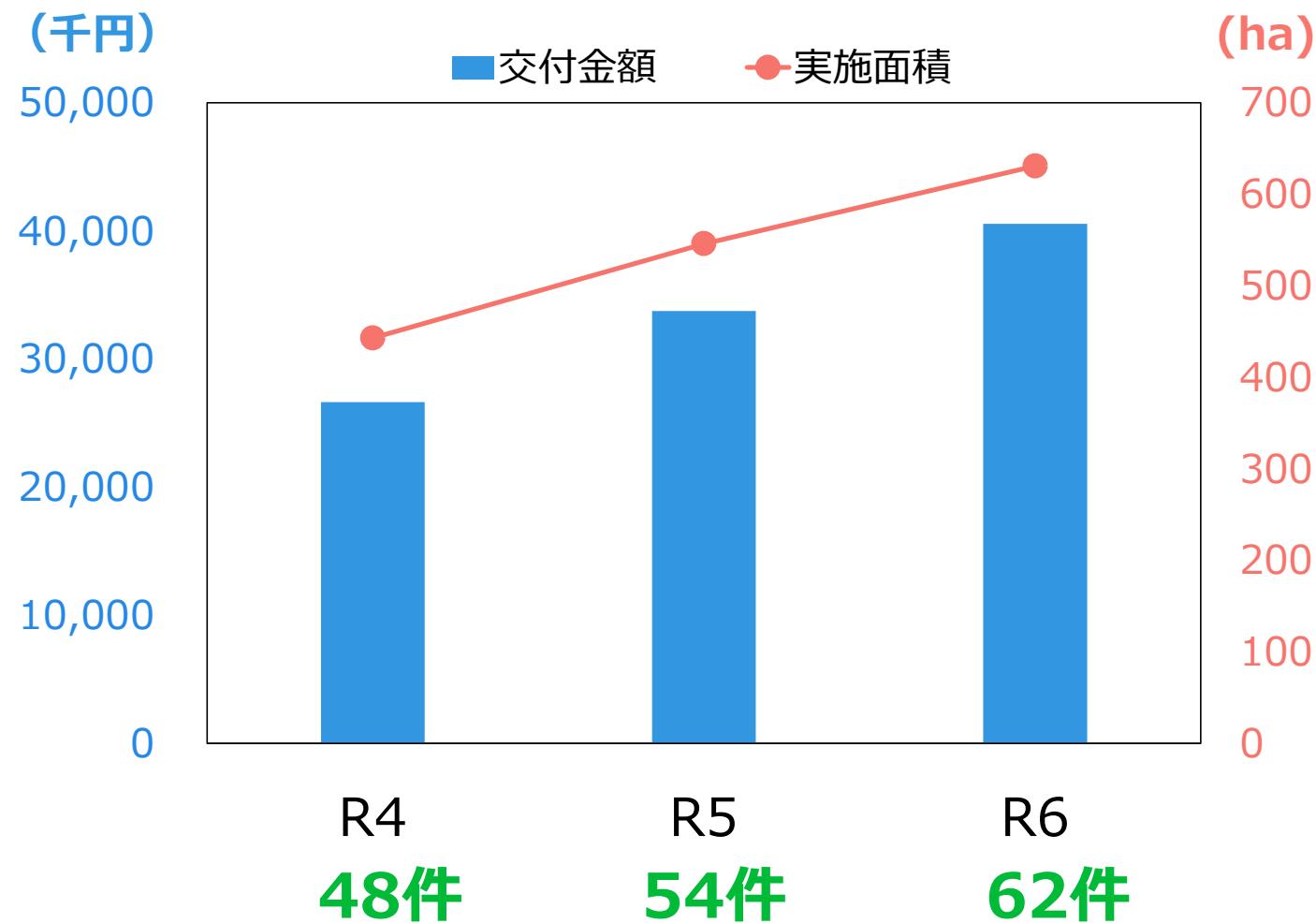
② 一定の条件を満たす農業者

- i) 集落の一定割合以上の農地で取組を行う農業者
耕作する集落又は全国平均の概ね1/2以上 等
- ii) 複数の農業者で構成されている法人
複数の農業者で構成されている法人（農協除く）

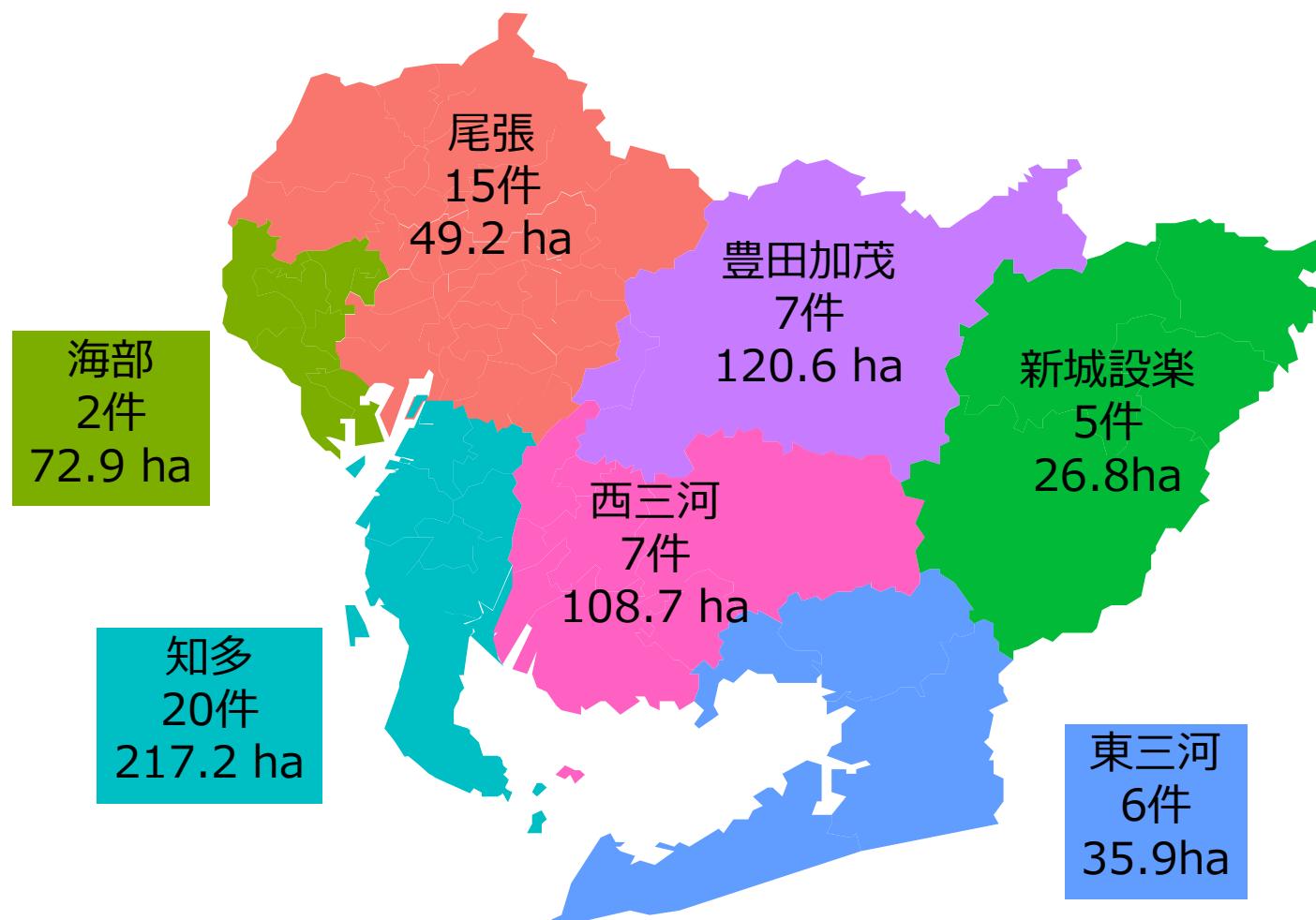
その他の要件

- I 販売することを目的に生産
- II 環境負荷低減チェックシートの提出

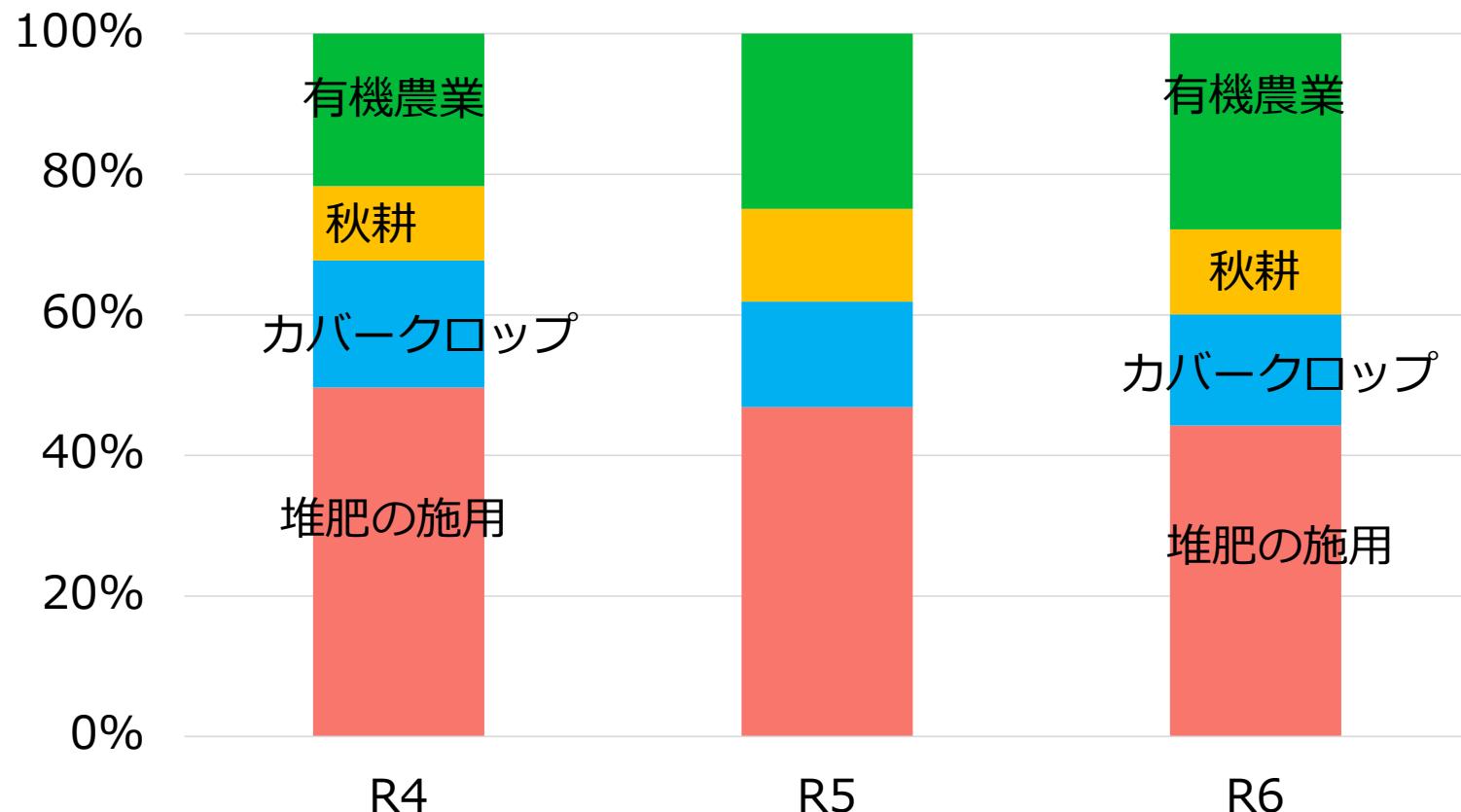
R6年度の実施状況



地域別の実施状況



愛知県全体_取組別の実施割合



全体に占める

- ・堆肥の施用
- ・有機農業 の
割合が高い。

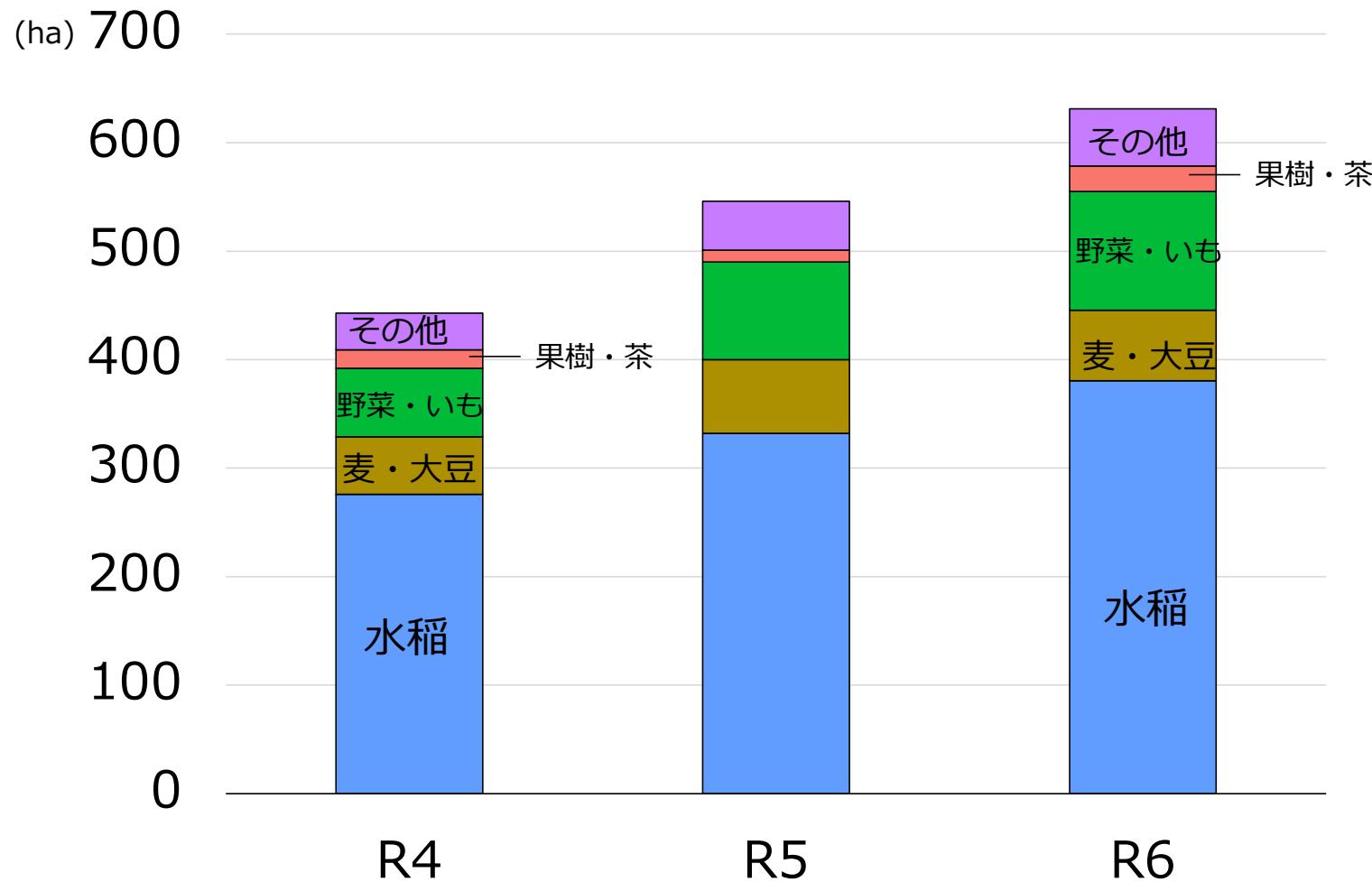
リビングマルチ、

草生栽培

不耕起播種

長期中干し は「0」

愛知県全体_作物別実施状況



「水稻」での取組が
最も多い。
続いて
「野菜・いも類」

R7年度から 第3期スタートとなり、支援対象も変更

第2期

有機農業	12,000円
堆肥の施用	4,400円
カバークロップ	6,000円
リビングマルチ	5,400円
草生栽培	5,000円
不耕起播種	3,000円
長期中干し	800円
秋耕	800円

第3期

有機農業	14,000円
堆肥の施用	3,600円
縁肥の施用	5,000円
(カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培)	
不耕起播種	3,000円
長期中干し	800円
秋耕	800円
NEW 総合防除	4,000円
NEW 炭の投入	5,000円

総合防除とは

病害虫や雑草の発生を抑制し、被害を経済的な許容範囲内に抑えるための、様々な防除手段を組み合わせた総合的な管理方法。

- ① 都道府県が地域の実情に応じて策定する
I P M 実践指標について、管理ポイントの
6割以上の取組を実施すること。

② 主作物が水稻の場合

- ・除草剤を使用しない畦畔の雑草管理

主作物が水稻以外の場合

- ・交信かく乱剤の利用
- ・天敵温存植物の利用
- ・天敵等生物農薬の利用

のうち1つ以上を実施すること。

愛知県のIPM実践指標（抜粋）

手 法	チ ェ ッ ク 事 項（注）				
	稻	麦	大豆		
病害虫・雑草の発生しにくい環境の一 栽培計画	栽培品種、施肥量、栽培時期、収穫時期、栽培方法などの計画を立てている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	ほ場の選定	土壌伝染性病害虫の発生が少ないほ場を選択している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	連作回避	連作障害を回避するため、輪作を行っている。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	栽培用の水	水源(農業用水、地下水、水道、その他)が明らかな水を用いて、必要に応じて殺菌をしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	土層改良	深耕等、透排水性の改善を行っている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	土づくり	たい肥、綠肥などの有機物を施用し、土づくりをしている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	有機質資材	たい肥を施用する場合は、病害虫・雑草による汚染を防止するため、十分に発酵したものを使用している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	適正施肥	定期的に土壤診断を実施している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

炭の投入とは

炭を農地に投入すると、土壤に炭素を長期固定でき、地球温暖化の抑制に貢献。

剪定枝やもみ殻などの未利用バイオマスを原料とすることで、地域資源の循環利用が可能。

炭は多孔質で保水性・通気性・保肥力を高めるため土壤改良にも効果あり。



写真：令和7年度環境保全型農業直接支払交付金の
手引きより引用